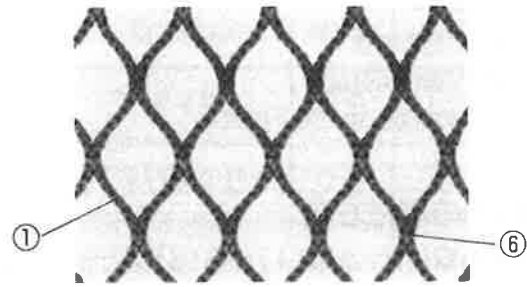


(一社) 仮設工業会認定安全ネット 取扱説明書

この度は、ナカダ産業の安全ネットをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
安全に正しく使用して頂くために「取扱説明書」をお読みください。

1. 安全ネットの使用目的

安全ネットは、建設工事現場等における高所作業中、人体の墜落による危害を防止するため、水平に張って使用するものです。用途以外に用いないでください。



ラッセル網

2. 安全ネットの材質、構造、仕立寸法、強度

(1) 材質

安全ネットの使用材料は、合成繊維でポリエステル(テロン)です。

(2) 構造

(イ) 安全ネットは、網地、縁網、仕立糸及び吊綱等よりつくられています。

(ロ) 網目の大きさは15mm、18mm、50mm、100mmです。

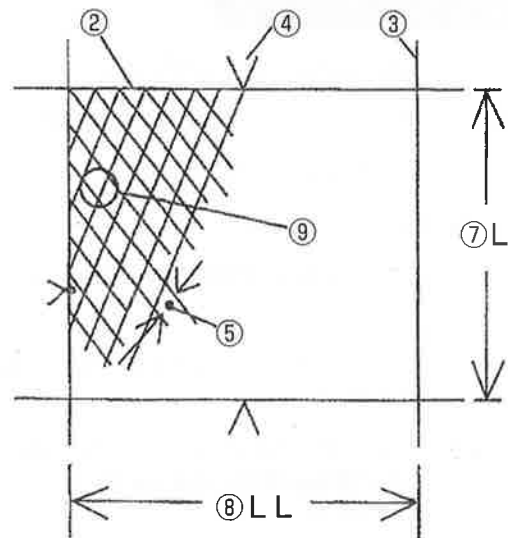
(ハ) 網地の種類はラッセル網地です。

(ニ) 四隅には、吊綱が取り付けられています。

(ホ) 吊綱の長さは、1m×2本です

(ヘ) 縁網は三打ちロープで、端末部はほどけないよう熱処理加工してあります。

(ト) 縁網は、周辺の網目に貫通させてあります。



【取扱説明書で用いられている用語の意味】

- ①網 糸：網地に使用される糸で単糸又は単糸数本をより合わせまたは組み合わせたものです。
- ②縁 網：ネットの周辺を形成する網。
- ③吊 綱：ネットを取付部に取り付けるための網。
- ④中間吊綱： //
- ⑤網 目：網糸と結節により囲まれた部分。また、網の目の大きさをいうときは相隣る結節間の中心距離をもって表します。
- ⑥結 節：網糸の交差点を形成する網の結び目。
- ⑦仕立寸法：静置時のネット短辺 L
- ⑧ // : // 長辺 LL
- ⑨網 地：網目が多数連続しているもの。

(3) 仕立寸法

安全ネットの標準仕立寸法は、次のとおりです。 (単位m)

たて×よこ	たて×よこ	たて×よこ
0.5×6	5×5	10×10
1×6	5×10	
3×6	6×6	

※別注サイズも承ります。

(4) 強度等

認定安全ネットは、(一社)仮設工業会の認定制度に基づき、次の(イ)から(ハ)までの試験が実施され、強度等が確認されています。

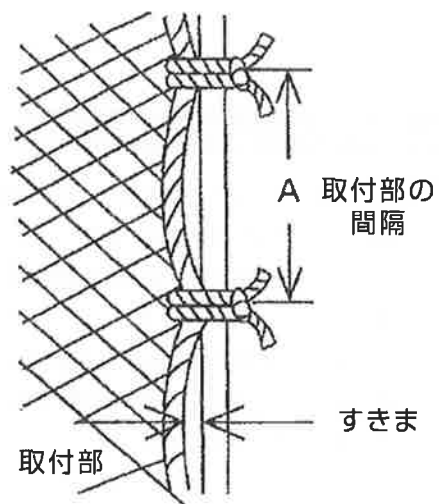
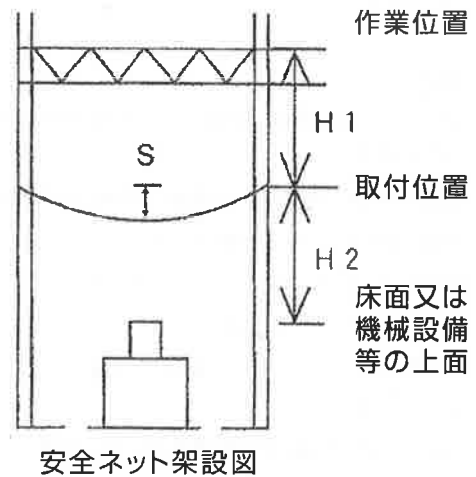
- (イ) 網糸の引張強度試験
- (ロ) 縁綱及び吊綱の引張試験
- (ハ) 安全ネットの落錘による落下試験

3. 安全ネットの取付方法

安全ネットの取付は、次の(1)から(6)まで守って使用してください。

【本項で用いている用語の意味】

- 単体ネット：1枚の網地に仕立てられたネット
- 複合ネット：単体ネットをつなぎ合わせて形成されたネット
- 取付点：ネットを取り付ける点
- 取付位置：取付点を連ねる面
- ネットの垂れ：ネットを架設した際の網地の最低部と取付位置との垂直距離 S(単位m)
- 落下高さ：墜落のおそれのある作業床と取付位置との垂直距離 H1(単位m)
- ネット下部のあき：ネットの取付面とネット下部において衝突の恐れのある床面または機械設備等との垂直距離 H2(単位m)
- 取付間隔：ネット周辺の取付部の間かく A(単位m)
- L：単体ネットにあってはその短辺の長さ、複合ネットにあってはそれを構成するネットの長さの最小のもの(単位m)



(1) ネットの落下高さ H1 (単位m)

落下高さは、次の式により計算して得た値以下としてください。

○単体ネットの場合

$L < A$ のとき $H1 = 0.25(L + 2A)$

$L \geq A$ のとき $H1 = 0.75L$

○複合ネットの場合

$L < A$ のとき $H1 = 0.20(L + 2A)$

$L \geq A$ のとき $H1 = 0.60L$

(2) ネットの垂れ S (単位m)

ネットの垂れは、次の式により計算して得た値以下としてください。

$L < A$ のとき $S = 0.2(L + 2A) / 3$

$L \geq A$ のとき $S = 0.2L$

(3) ネットの下部の空き H2 (単位m)

ネットの下部の空きは、次の計算して得た値以上としてください。

※ネットの下部の空きとは、安全ネットの取付位置とネットの下における衝突のおそれのある床面又は、機械設備等の上面との垂直距離をいいます。

$L < A$ のとき $H2 = 0.85(L + 3A) / 4$

$L \geq A$ のとき $H2 = 0.85L$

計算例(単体ネット)

仕立寸法	H1	S	H2
0.5×5	1.63	0.43	2.0
1×6	1.75	0.5	2.4
3×6	2.27	0.6	2.6
5×5	3.75	1.0	4.3
5×10	3.75	1.0	4.3
6×6	4.5	1.2	5.1
10×10	7.5	2	8.5

(4) ネット取付部の強度

ネットの取付部の強度は、5.9KNの外力に耐えるものを確保して下さい。

なお、連続的な架構物にネットの取付部を設ける時は、次の式により計算して得た値(P)以上にしてください。

$P = 200A$ ただし、P=外力(単位 KN)

(5) 取付部の間隔等

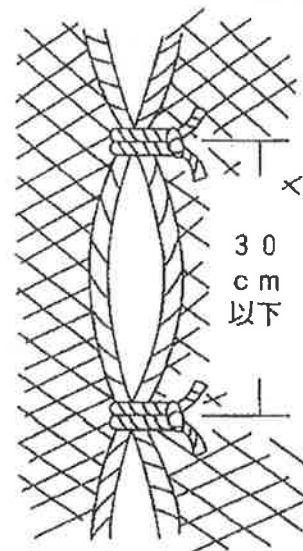
ネット取付部の間隔は3m以内とし、ネット周辺と取付場所との隙間は、15cm以内になるように取り付けてください。

(6) その他取付け・使用上の注意等

○安全ネットを複合し、複合ネットとする時は、ネット相互の平行する縁網を30cm以下の間隔で、ジョイントロープまたは、ジョイント金具等を用い結合してください。番線は使用しないでください。

○四隅の吊網は必ず使用してください。

○安全ネットは、溶接・溶断作業等の火花等により損傷しますので、ネットに火花等がかからないようにしてください。



4.安全ネットの取付及び取外し作業上の注意

- (1) ヘルメット、安全帯を使用してください。
- (2) 墜落危険がありますので、投げたり、引きずったりしないでください。
- (3) 一人の取り扱い重量は、20kg以内とし、20kgを超える場合はクレーン等を使用してください。

5.安全ネットの管理の仕方

- (1)安全ネットの使用開始1年以内及び、その後6ヶ月ごとに引張試験を行って、強度を確かめてください。
所定の強度がないものは、使用しないでください。また、必要に応じ安全ネットの落錘による落下性能試験を行ってください。
- (2)安全ネットの使用中は、下記の通り、点検、取り替え等を行ってください。
- 大雨、強風(風速15m/SEC以上)、地震等の後では、安全ネット、取付部等を必ず点検し異常がある場合は、適切な処置をしてください。
 - 安全ネットの上方または、近くで溶接作業等が行われた場合、作業の終了後、すみやかに溶接火花または、溶断片による損傷の有無について調べ、損傷のあるときは、取り替えてください。
 - 飛来落下物により、安全ネットが損傷した場合は取り替えてください。
- (3)安全ネットが、下記のもの、使用しないでください。
- 安全ネットの網地、吊網、縁網等の損耗が著しいもの。
 - 品質表示のないもの。
 - 異物等が付着したもの、汚れが著しいもの、補修がすんでいないもの。
 - 人体または、人体相当の落下体により衝撃を受けたものは、外観に異常がなくても使用しないでください。
 - 使用及び保管が長期に及び、強度が疑わしいもの
- (4)安全ネットを保管するときは、下記の通り行ってください。
- 高温、紫外線、油、溶剤及び有害ガス等を避け、乾燥した風通しのよい場所に保管してください。
 - 仕上がり寸法の異なるものを同一場所に保管する時は、寸法ごとに区分して保管してください。
 - 使用期間、使用回数等が異なるものは、その使用歴が容易に確認できるようにしておいてください。

6.保守管理

保守管理を行う場合は、(一社)仮設工業会が定めている「経年仮設機材の管理に関する技術基準」により適正に管理してください。

7.廃棄上の注意

産業廃棄物として処理してください。
(塩化ビニールは使用しておりません。)



ナカダ産業株式会社

本 社/〒428-0019 静岡県島田市志戸呂880-3

TEL.0547-45-3141 FAX.0547-46-4123

URL.<http://www.nakadanet.co.jp/>